

ひとり親家庭の居住の状況について

平成30年8月20日 京都市住宅審議会

第2回民間賃貸住宅部会 資料

2 ひとり親家庭の居住の状況について

平成28年度 全国ひとり親世帯等調査結果の概要について

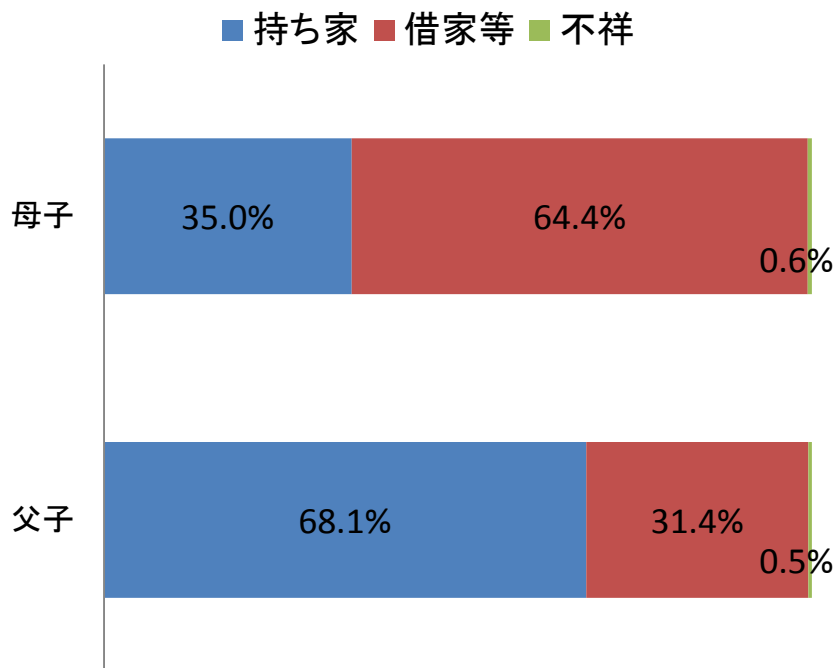
	母子世帯	父子世帯
1 世帯数(推計値)	123.2万人	18.7万人
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 79.5% 死別 8.0%	離婚 75.6% 死別 19.0%
3 就業状況	81.8%	85.4%
就業者のうち 正規の職員・従業員	44.2%	68.2%
うち 自営業	3.4%	18.2%
うち パート・アルバイト等	43.8%	6.4%
4 平均年間収入 [母又は父自身の収入]	243万円	420万円
5 平均年間就労収入 [母又は父自身の就労収入]	200万円	398万円
6 平均年間収入 [同居親族を含む世帯全員の収入]	348万円	573万円

2 ひとり親家庭の居住の状況について

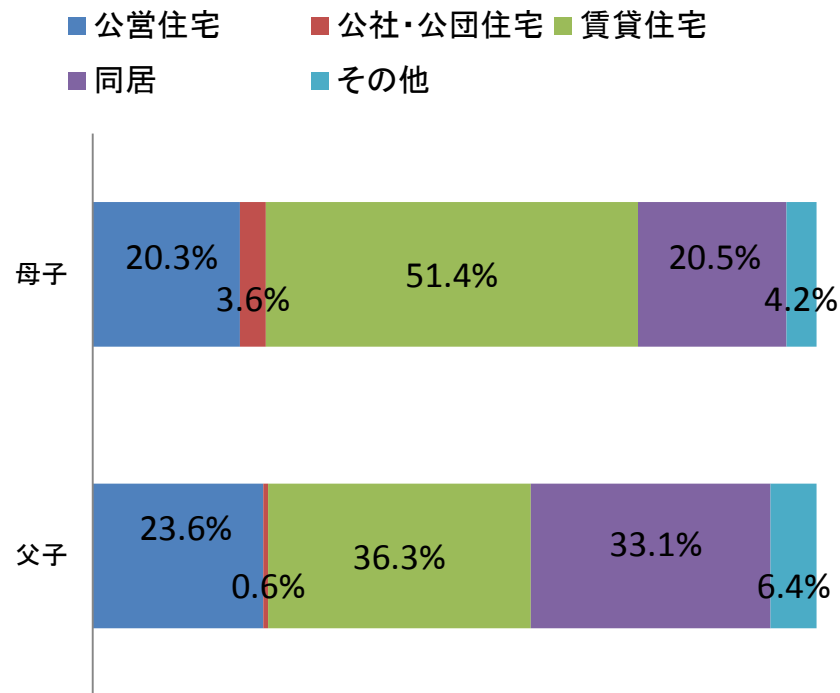
住居の状況について(全国)

- 母子世帯の65%程度が借家等に居住しており、その半数以上が民間の賃貸住宅に居住している。
- また、母子家庭の持ち家率は35%で父子世帯の約半数と低い結果となっている。

住居の所有状況



借家等の内訳



2 ひとり親家庭の居住の状況について

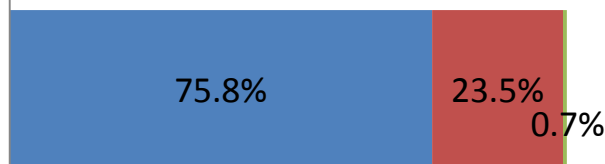
<参考>母子世帯の就業状況について(全国)

- 母子世帯になる前は、母の約75%が就業しており、このうち「パート・アルバイト等」が54.7%と最も多い。
- 調査時点では、8割を超える方が就業しており、このうち最も多いのが、約45%の「正規の職員・従業員」となっている。

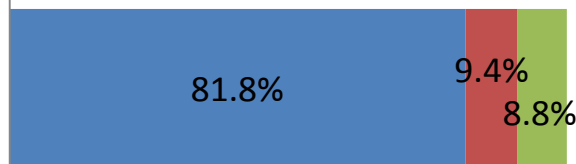
母子世帯の就業状況

■ 就業している ■ 不就業 ■ 不祥

ひとり親になる前



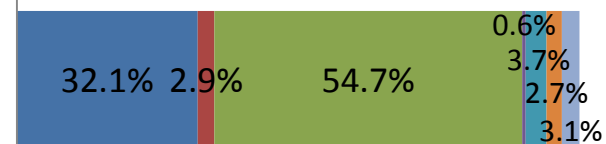
調査時点



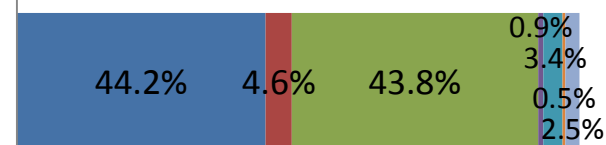
母子世帯の従業上の地位

■ 正規の職員・従業員 ■ 派遣職員
■ パート・アルバイト等 ■ 会社などの役員
■ 自営業 ■ 家族従事者
■ その他

ひとり親になる前



調査時点

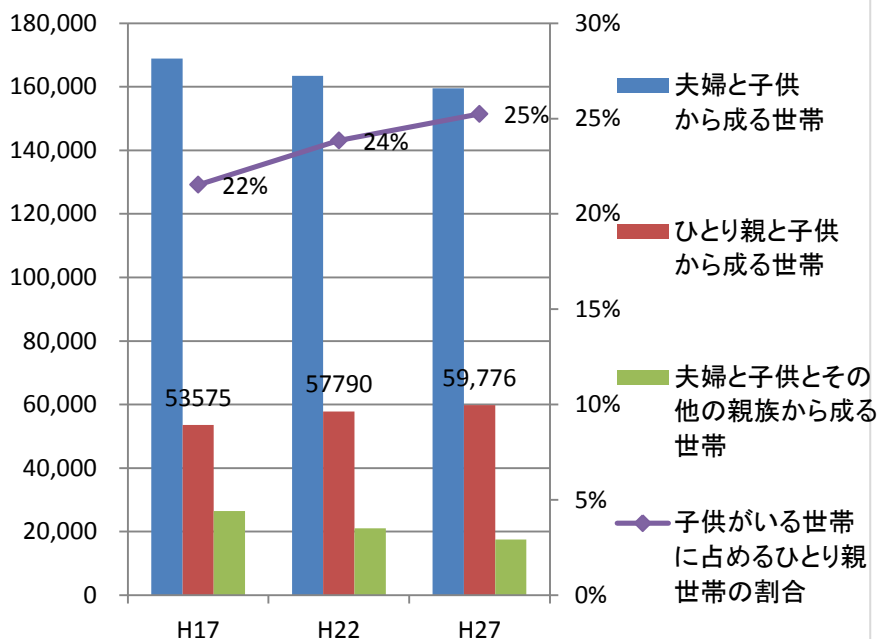


2 ひとり親家庭の居住の状況について

京都市内の子育て世帯(ひとり親世帯)の世帯割合及び住居の状況

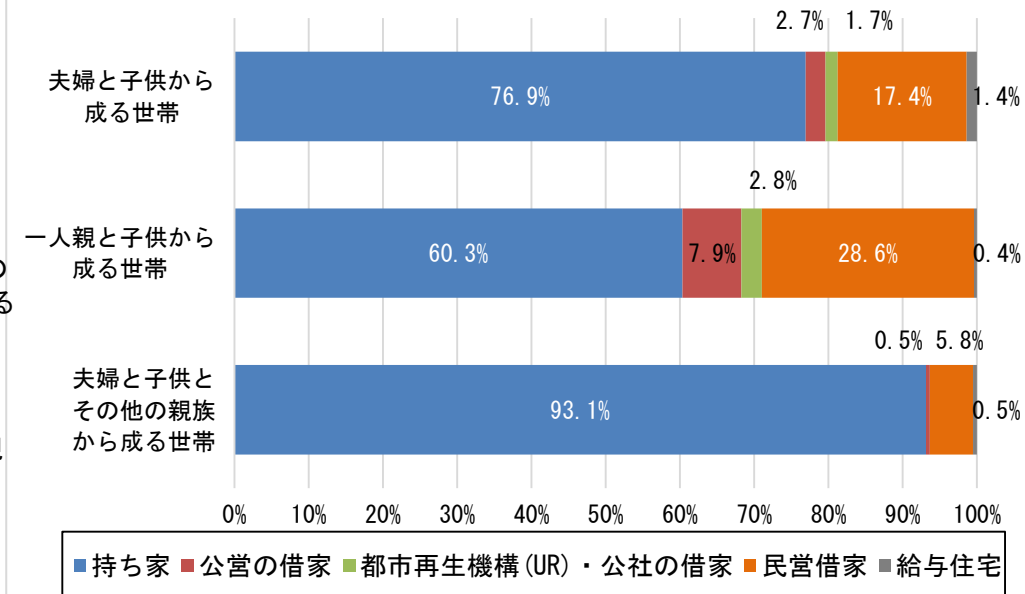
- 子供がいる世帯は減少傾向である中、ひとり親世帯数は増加しており、平成27年には、子供がいる世帯全体のうち、約25%がひとり親世帯となっている。
- 子供がいる世帯の住宅の所有形態は、ひとり親と子供から成る世帯において、持ち家率が他の区分よりも低く、公営、UR、民営借家等の比率が高くなっている

京都市内の子どもがいる世帯数及びひとり親世帯の割合



(資料) 総務省「国勢調査」(平成27年)

京都市の子ども(18歳未満の世帯員)のいる世帯の住宅ストックの所有形態



(資料) 総務省「国勢調査」(平成27年)

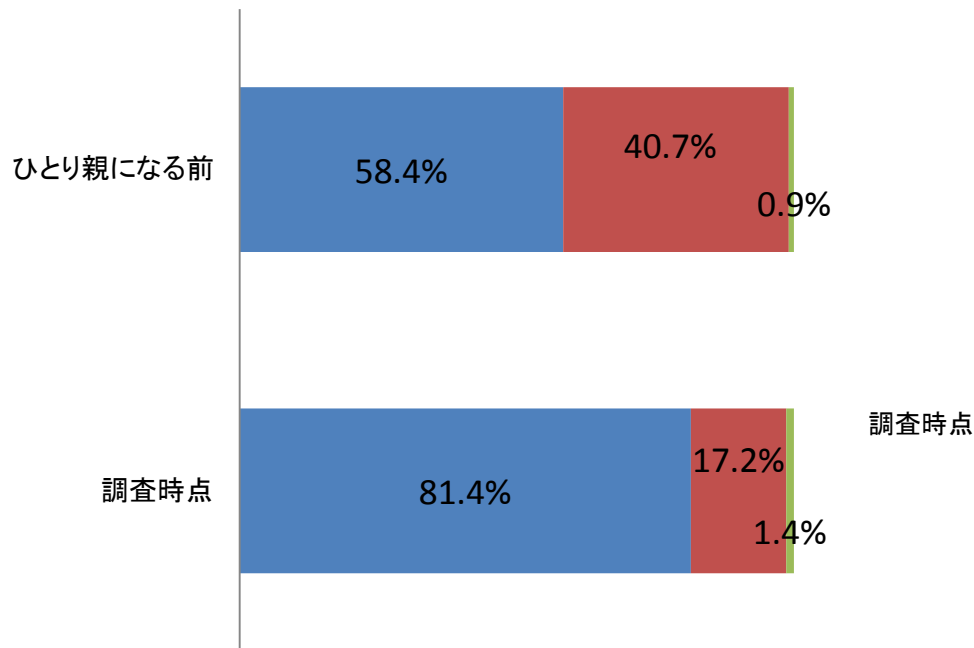
2 ひとり親家庭の居住の状況について

<参考>母子世帯の就業状況について(京都市)

- 母子世帯になる前は、母の就業率が60%に満たないが、調査時点では80%を超えている。
- 調査時点の就労形態では、「パート・アルバイト」が45%程度と最も多くなっており、次いで37%の「正社員・正規の職員」となっている。

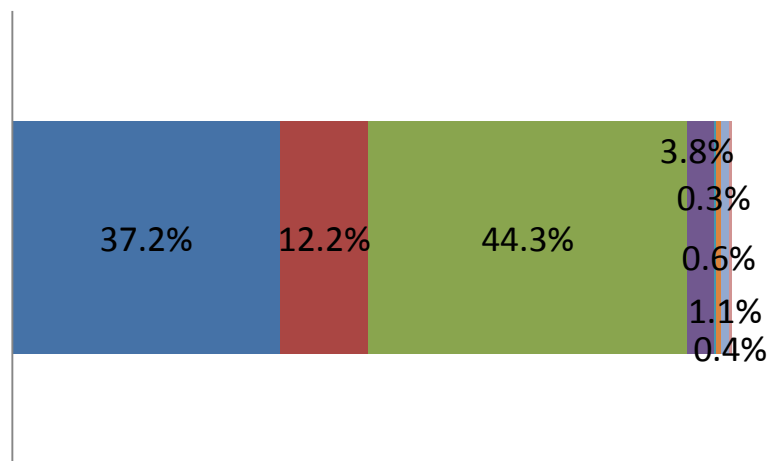
母子世帯の就業状況

■ 就業している ■ 不就業 ■ 不祥



就労形態について

■ 正社員・正規の職員 ■ 契約・登録・派遣社員
■ パート・アルバイト ■ 自営業主
■ 家族従事者 ■ 内職・在宅就業
■ その他 ■ 無回答



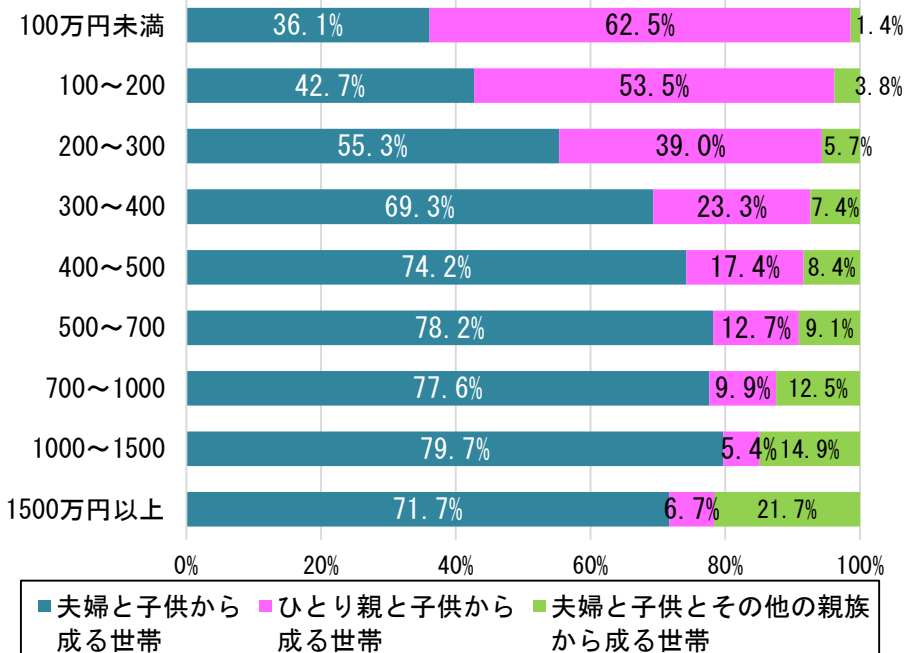
(資料)京都市子どもの生活状況等に関する調査(平成29年3月)を基に作成

2 ひとり親家庭の居住の状況について

京都市内の子育て世帯(ひとり親世帯)の所得状況

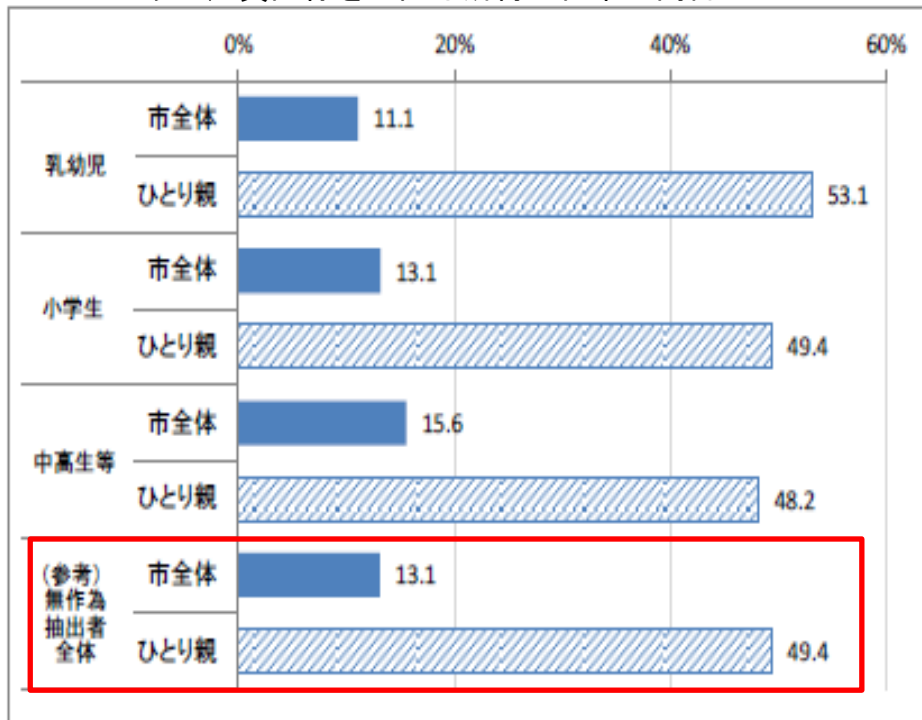
- 京都市内の子どもがいる世帯の所得については、所得区分が低いほど、ひとり親世帯の割合が高くなっており、200万円未満の世帯では半数を超えている。
- また、ひとり親世帯の約半数の所得が貧困線を下回っている。

京都市内の子どもがいる世帯の所得状況



(資料) 総務省「国勢調査」(平成27年)

京都市内の子どもがいる世帯(18歳以下)のうち、貧困線を下回る所得の世帯の割合



(資料) 京都市子どもの生活状況等に関する調査(平成29年3月)

2 ひとり親家庭の居住の状況について

「京都市ひとり親家庭支援センター ゆめあす」について

昭和59年 「京都市母子福祉センター米岡荘」として、上京区出町栴形商店街南側に開設

平成21年 北山ふれあいセンター新築に伴い移転

平成24年 「京都市ひとり親家庭支援センター(愛称・ゆめあす)」としてスタート

<支援内容>

1. 相談全般

生活・仕事・子育て・養育費・面会
交流・法律問題 他

2. 仕事を探す・準備する

就業の相談・自立支援プログラム他

3. 交流する

親と子のファミリーネットワーク・母
親交流の「ママカフェ」他

4. 生活に役立てる

生活支援講習会・きもの貸し出し他

現在の建物（北山ふれあいセンター）H21～

